画像診断報告書

患者ID	0000-0000		
患者氏名	OO OO 様 (男)	生年月日	19XX 年 XX 月 XX 日 (検査時 78 歳)
臨床診断	頭蓋骨腫瘍(左前頭骨)疑い		
検査目的	上記精査		
臨床情報	胃癌 ope 既往有り。		
部位/モダリティ	頭部/ CT	検査日時	20XX 年 XX 月 XX 日 XX:XX
検査実施 医療機関	〇〇病院	造影剤	
依頼医/依頼 科	/	病棟	
希望対応	通常		

読影担当医 〇〇 〇〇

頭蓋骨左側に軟部腫瘤を認めます。周囲には硬化縁を有し、内部には肥厚した骨梁のような管腔 構造様の石灰化を認めます。PET では軟部影に一致して周囲骨髄と同程度の淡い集積を認めま す。血管腫でしょうか。転移としては骨破壊などに乏しい印象です。MRI でも評価されてはいかがで しょうか。

その他、頭蓋内に有意な異常は指摘できません。

<二次読影医のコメント>

前頭骨左側病変は骨の膨脹、変形を伴っています。骨膜反応はありません。中心部には空洞様の 透亮像があり、多数の類骨様結節影がみられます。辺縁部分には境界不明瞭な骨硬化像の取り囲 みを認めます。

読影所見

年齢、病変の主座、性状などを考慮すると、線維性骨異形成(fibrous dysplasia)は考えられると思 います。少なくとも胃癌の骨転移を疑うような病変ではありません。

線維性骨異形成は多彩な画像所見を示すことが知られており、嚢胞変性、限局性石灰化を伴うこと もあります。

PET 所見についてですが、信頼できる文献を探すことができず、断定はできません。しかし、骨シン チグラフィでは淡い集積を示すことが知られていますので、PET でも同様の集積があっても良いと思

悪性腫瘍を疑う病変ではありませんので、基本的には単純写真での経過観察でよいと思います が、時に悪性腫瘍を合併することもありますので、変化がみられた場合は精査を進めてください。

読影診断

頭蓋骨左側の骨腫瘍 線維性骨異形成の疑い

読影医: 〇〇 〇〇

